

入札（見積）結果調書

令和 5 年度

契約番号	第73-21-00359号		
件名	白川浄水場 I T V設備保守点検業務		
入札(見積)年月日	令和 5年 11月 1日	午前 9時 30分	
入札(見積)場所	水道局総務部総務課入札室		
落札(決定)金額	2,194,500 円	主管課	73 白川浄水場
	<small>入札(見積)価格に 10%に相当する額を加算した金額が法律上の落札(決定)金額である。</small>	最低制限価格	
工種(業種)	290 その他		円
落札(決定)業者	60000088350 (株)日立国際電気 北海道支店		

入札（見積）経過

(単位:円)

指名(見積)業者名	入札(見積)金額						価格交渉金額
	第 1 回	最低金額	第 2 回	最低金額	第 3 回	最低金額	
(株)日立国際電気 北海道支店		1,995,000					落札
(備考)							



業 者 特 定 理 由 書

下記の理由により業者を特定する。

記

- 1 件 名 ユーザ管理システム改修業務（新料金システム対応）
- 2 業者名 株式会社 エヌ・ティ・ティ・データ北海道
- 3 特定理由 本業務は、平成 30 年度に利用開始したユーザ管理システムについて、業務上の必要性から、画面やデータベース、出力ファイルの変更などの仕様変更を行うものである。
ユーザ管理システムは、株式会社エヌ・ティ・ティ・データ北海道が当局の調達仕様に基づき専用開発したものであり、同業者はシステム構造やシステム改修方法について把握している唯一の業者であるため、上記業者を特定する。
- 4 根拠規定 地方公営企業法施行令 第 21 条の 14 第 1 項第 2 号

業者特定理由書

下記の理由により見積事業者を特定する。

記

- 1 件名 監視型漏水調査業務
- 2 事業者名 札幌施設管理株式会社
- 3 特定理由

本市では漏水防止対策として、年間約1,000kmの音聴作業を主体とする漏水調査を実施するとともに、データ収集及び分析などの基礎的対策、給配水管の改良及び整備などの予防的対策を一体的に進めている。しかし、管路の経年化や昨今の漏水事故の発生を踏まえ、市民への安全・安定給水の継続に向けて、漏水リスクの高い管路の調査を強化する必要性が生じたため、効率的な漏水調査が可能となる調査方法として、監視型漏水調査を試行導入することとした。

監視型漏水調査とは、音圧や振動を検知するセンサーを仕切弁等に設置し、漏水などの異常を監視するものであり、センサーの設置箇所を巡回して無線によりデータを取得する巡回監視型と、クラウド等の通信によりデータを取得する遠隔監視型が存在する。今回、費用対効果において優位となる巡回監視型において、道内で唯一継続的な使用実績のあるAIMSを選定することとした。

このAIMSは日本水道管路管理協会の漏水調査技術であり、これを扱えるのは当協会の会員である必要がある。また本業務には、機器を設置・巡回できる体制や、機器が検知した音が漏水音であるかを識別できる音聴作業の実施体制も必要である。したがって、本業務を履行できるのは、上記協会の道内唯一の会員であり、音聴作業等の実施体制を有する札幌施設管理株式会社以外にない。

- 4 根拠規定

地方公営企業法施行令第21条の14第1項第2号に該当すると判断されるため。

備考 この様式により難いときは、この様式に準じた別の様式を使用することができる。